

2026年6月1日  
国立精神・神経医療研究センター（NCNP）

## 国立精神・神経医療研究センター病院 「睡眠診療部」を開設 ～すべての国民に Good Sleep を届けるために～

日本人の約5人に1人は睡眠に関する悩みを抱えているといわれています。睡眠の問題は、昼間の生活に支障をきたすだけでなく、うつ病や生活習慣病などとも密接に関係しています。不眠症以外にもさまざまな睡眠・覚醒の病気があり、それぞれで原因や治療法が異なります。

こうした睡眠・覚醒障害の患者さんに最も適した診療を提供するため、6月1日より「睡眠障害」が標榜可能な診療科名になることを受け、国立精神・神経医療研究センター病院（東京都小平市、病院長：戸田達史）では、「睡眠診療部」を開設します。

当院では、世界有数の睡眠の研究機関である精神保健研究所睡眠・覚醒障害研究部の成果を最新の医療につなげ、認知行動療法（CBT）センターなどとの連携を図り、オール NCNP で協力して診療に当たります。睡眠・覚醒障害の原因究明、新たな診断法・治療法の開発などの研究を推進し、睡眠医療のさらなる進歩に貢献していくことを目指しています。

### 「睡眠診療部」の特色

- 内科・精神科・小児科・歯科等の専門医師による睡眠障害への総合診療を提供
- 適切な安全精度管理下における充実した各種睡眠検査を提供
- 学術研究部門（研究所）と連携した最先端の睡眠医療を提供
- 新薬・医療機器治験の実施拠点

NCNP は発足以降、睡眠医療の発展に尽力してまいりました。このたび、診療科標榜に併せて、患者さんにより分かりやすく、安心して受診していただくために、新しく睡眠診療部を開設しました。今後も積み重ねられた経験に基づく、質の高い睡眠医療をより多くの国民の皆様提供してまいります。

## NCNP における睡眠診療の沿革



睡眠診療の源流は、1986年の旧国立精神・神経センター発足と、精神保健研究所精神生理部の成立にさかのぼります。



国立精神・神経センター発足  
精神保健研究所・精神生理部が設立  
睡眠研究の開始  
(大川匡子部長)

NCNP 内で睡眠・生体リズム研究と臨床応用が展開  
・武蔵病院  
梶村尚史医師が睡眠診療・臨床研究を担当  
・国府台病院  
亀井雄一医師が睡眠診療・臨床研究を担当

高橋清久（名誉総長）らにより日本学術会議へ「睡眠学の創設」を提言  
精神生理部  
大川匡子部長  
→内山真部長

NCNP 病院専門疾病センターとして睡眠障害センターを整備。  
センター長  
亀井雄一医師  
精神生理部  
内山真部長→三島和夫部長  
【名称変更】精神生理部→睡眠・覚醒障害研究部

睡眠障害センター長  
亀井雄一医師  
→栗山健一医師  
→松井健太郎医師  
(現任)  
睡眠・覚醒障害部  
三島和夫部長  
→栗山健一部長  
(現任)

### 【お問い合わせ先】

●取材等のお問い合わせについて

国立精神・神経医療研究センター 総務課広報室

【Email】 [kouhou@ncnp.go.jp](mailto:kouhou@ncnp.go.jp)

【URL】 <https://hsp.ncnp.go.jp/>